

シンポジウム「地球環境時代における建築構造分野の役割 ー安全・安心社会へ向けた都市と建築の未来像を考えてー」

地球環境の観点から 2050 年に目指す安全・安心社会に向けての建築行為の中で地域システムの在り方や構造分野が果たすべき役割について議論する。建物の寿命マネジメントや環境負荷低減、木材利用ならびに進行しつつある気候変動への対応、およびそれらの事業化について、建築の材料、施工、構造の立場から取り組むべき課題は何か、また、低炭素社会の実現に向けた構造分野の方向性を考えるとき、次世代の構造技術者が備えるべき観点や知識とはどのようなものか。それらを提示・提供することを目的として整理したものをテキスト的にまとめたので、その内容を紹介するとともにそれらをもとに議論を行う。

主 催：日本建築学会 地球環境委員会 地球環境構造小委員会
日 時：2018 年11 月5 日（月）13:00～17:00
場 所：建築会館会議室

第1部 小委員会成果報告 13:00～15:50

主旨説明

- ・2050 年の建築のあるべき姿 大谷恭弘(神戸大学)
- ・コミュニケーションと安全・安心 平川倫生(三菱地所設計)
- ・都市からみた建物の寿命マネジメント // (前掲)
- ・資源からみた建物の寿命マネジメント 兼光知己(清水建設)
- ・資源循環とエネルギー消費・削減に関する現状 藤田正則(神奈川大学)
- ・再生可能エネルギーの新しいアプローチと環境共生型社会の実現 柳橋邦生(竹中工務店)
- ・木材の利用 西村 功(東京都市大学)
- ・気候変動に伴う災害に関する問題提起と災害に対する防災 軽部正彦(森林総合研究所)
- ・建物の環境負荷低減と安全・安心に向けた社会システム 田村和夫(建築都市耐震研究所)
- ・木質ハイブリッド建築の事業モデル 三橋博巳(日本不動産学会)
- ・中規模木造建築促進のためのデータベースの紹介 稲田達夫(山佐木材)
- 森 拓郎(広島大学)

第2部 質疑・討論 16:00～17:00 司会：大谷恭弘(前掲)

*講演・発表の題目は、変更になる場合があります

参加費 会員1,500円、会員外2,000円、学生1,000円(資料代含む、研究交流会参加費別途、当日会場でお支払い下さい)

定員 70名(申し込み先着順)

申込方法 Web申し込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615343> よりお申し込みください。(締切：10月29日(月))

問合せ 日本建築学会事務局 事業グループ 酒井 E-mail：skai@aij.or.jp TEL：03-3456-2051